

手塚たかひろ

議会報告

NO14 2014年4月10日

連絡先 枚方市禁野本町 1-5-15 106

Tel・Fax 072 - 849-1545

自宅 枚方市宮之下町 13-12

携帯 080-1509-0706

ブログ <http://ameblo.jp/shiminnokai-tezuka-t/>

HP <http://www.tezukatakahiro.com/>



二月二十四日から三月二十六日まで、二〇一四年第一回定例議会が開催されました。今回は、市長の市政運営方針を受けて、会派代表質問を七名の議員が行いました。その後、予算特別委員会で二〇一四年度予算案が審議されました。

最終日の三月二十六日に、一般会計予算案や議会基本条例案や美術館の寄付受け入れなどが、賛成多数で可決されました。私は、前記の各提案に反対討論を行いました。国民健康保険会計にも反対しました。「秘密保護法廃止」「辺野古への新基地建設反対」の意見を共産党議員団と共同提案しました。

2014年度予算案賛成多数で可決 一般会計予算案に反対討論

来年度の予算案は、「一般会計 1225 億円」「国民健康保険特別会計 453 億 6200 万円」「後期高齢者医療特別会計 48 億 5800 万円」が賛成多数で可決されました。その他の予算案は全会一致で可決されました。私は、一般会計と国民健康保険特別会計に反対しました。

* 一般会計予算案への反対討論の要旨

子ども医療費助成を小学校 3 年まで拡大することや留守家庭児童会室保育料を 9200 円から 7200 円に引き下げるなど、子育て施策の一定の前進は評価する。しかし、大阪府下でかならずしも、高い水準ではない。健康医療都市、教育文化都市を都市ブランドとし、中核市に移行する本市としては、今後、もっと改善する必要がある。

新学校給食共同調理場整備費として 7 億 1904 万円が計上されている。中学校給食は生徒全員に提供するべきで、選択性では、教育としての給食事業の目的が達成できるとは思われない。先行して選択性の中学校給食を導入した府下の自治体では、富田林を除いてほとんどのところで 10%前後の喫食率。大阪市も 2014 年度から選択性をやめて 1 年生から順次、全員喫食に変える。

本市の中学校給食は、50%の喫食を目標としているが、目標達成は、高いハードルだ。いずれ、大阪市のよう選択性そのものの見直しが必要になることは明らかだ。

喫食率が低迷すれば、共同調理場の施設は多くの無駄を抱える。また、建設経費を削減するために、米飯は共同調理場では作らず、業者から購入することにして、調理場の計画を変えた。

中学生にどのような給食を提供しなければならないのか、そのために、枚方市の責任でどこまでやるのかの基本的な方針が、財政的問題を理由に変えられた。このような一貫性のない共同調理場の建設方針は不安だ。選択性を前提とした共同調理場建設は見直し、生徒全員への給食提供を視野に入れた共同調理場建設案に変更すべきだ。予算案で計上された新学校給食共同調理場整備費に賛成できない。

*** 議員報酬・期末手当の手取りの半額を法務局に供託しています**

*** 政務活動費は受け取っていません**